（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）　昭和十一年十一月三日　常磐毎日新聞　〔火曜日〕　第三千七百六十七號　〔一〕

常磐毎日新聞
日刊

十一月二日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二一〇番

天氣豫報
今晩も明日も北西の風晴

大自然の中に
詩化された畫景
世を擧げて初冬に入る
▽……豊かな收め

十一月の暦

稲穂實る農作の農村では忽ちにして刈入れも終了、山手の部落では冬ごもりの準備にもと薪木採取に子供等迄も動員し小遣錢の收入を計らんと垣根柿の實を笊に入れて間近の町に商ふべく休みの日の朝早く兒童等が仲よく田圃道を歩いて行く靜かな

情景が 大自然の中に詩化されて一幅の畫景を點景する初冬の頃とはなつた、軍需黄金時代の炭礦は愈よ需要期に入り益々出炭增進に馬力を懸けて忙しく、漁況は海の米といはれる

鰯漁に 活氣を見せ都會地では出盛りの名物蜂谷柿や不知柿に店頭を飾つて行人の味覺を唆り街の屋根には俄かにストーブの煙突が增すのも此の月で菊香るを機とし

各種の 展覽會や品評會の催しが各處に賑々しく催されるのも此シーズンの收獲に數へられる

長橋町斷水

平町水道部では本二日同町長橋町地內の配水管布設工事を行ふので長橋町は本日夜八時から翌三日午前六時迄斷水される

仁井田浦釣魚大會

平町釣友會では第二回釣大會を八日午前六時から仁井田浦で開催、參加は五十餘名以上に上る見込みで會費は五十錢

災害工事
六十ケ所調査
內務省技師が來郡

平土木監督所管內十一年度災害工事六十ケ所の調査は八日より三日間內務省大井川技師外四名が滯在して施行されるが監督所の工事豫定額は十二萬圓であると

警察官訓練

平區上席檢事櫻井久次氏は過般司法警察官吏訓練の爲め平、浪江兩署の巡回を終へ來る十日は植田及び四倉の兩警察署に至ると

古河が優勝
磐陽野球決勝戰

磐城審判協會主催、同業朝日平通信部後援第十二回磐陽野球大會は昨一日午前十一時から磐中、平商兩球場で前回に續く準決勝並に決勝戰を行つた結果遂に古河チームが優勝した戰績左の如し

準決勝
平倶5―15平鐵
遞友5―13古河
決勝戰
古河7―4平鐵

菊香る明治節に
郷軍の譽れ！
山崎、藤田の兩氏が
寺內陸相から表彰さる

平軍友會長山崎清三、郷軍石城分會長藤田榮助兩氏は青年訓練所開設十週年記念に際し、郷軍の功勞者として寺內陸軍大臣から表彰され、明三日の明治節の佳辰を卜して同日午前九時から第一小學校で賞狀並に記念品傳達式を擧行される

紺屋町小火
物置から

平町紺屋町糸店石橋德三郎方物置から一日午後九時頃發火、大事に至らず消し止めたが原因は失火と見られて居り目下平署で取調中

亭主に
氣かねの妻
嬰兒殺し豫審へ

既報情夫の胤を宿した双葉郡長塚村大字瀧川字西力伊藤ハルヨ(三〇)が縁付先の內縁の亭主に氣がねして嬰兒を殺害した事件は過般來平支部で香西豫審判事係りの下に取調べ中であつたが今二日終結有罪と決定不拘束のまゝ公判に廻された

永年勤續表彰
鐵道慰安の席上で

平―高萩間、小川郷間並に綴用品庫鐵道從業員及び家族の慰安會は既報の如く卅日より一日まで東京鐵道局長代理、古谷水戸運輸事務所長、遠藤水戸保線事務所長その他臨席の下に平町聚樂館で開催、入場者六千餘名、從業員並に同家族子弟會堂して和氣靄々の大家族的雰圍氣をかもしたが三日間中二十年以上永勤者並に優良從業員の表彰を擧行平關係受賞者左の如し

平機關區機關士水野吉雄、同片寄重孝、同運轉助役、同渡邊周松、同片寄満、平檢車區檢車係鈴木兼衛、同區技工長新妻亥之吉、水戸車電區平支所車電係青木喜介、平驛信號係吉田光春、平保線區工手長大瀧彥次郎、同豬狩盛彌

小名体育會

小名濱町体育協會主催町民体育大會は三日午前九時から同小學校々庭で開く

棋仙會て
赤羽氏優勝

一日午前九時から第九回『棋仙の集會』は湯本町山形屋で開催、出席者二十名入賞者は左の如くで五人抜きの優勝者は平町赤羽清氏である

1岡田弘成(平町)2宮下秀豊(內郷)3赤津修一(勿來)4瀨尾善之進(平町)5池部虎雄(江名)

たゞ感激
紙面刷新に際して
社長 川崎文治

けふからの本紙は全く舊套をかなぐり捨てゝ、御覽の通り生れ變つた姿になりました。是れを從來と比較致しますと、舊式五號の活字がルビ付の七ポイント及び九ポイントに改められました結果活字の埋める量が倍加するに至り、全紙面の緊張味橫溢した異彩の輝かしきものあるは申す迄もなく、讀者諸彥の御期待の幾分に添え得るものあるを確信致します。

而して更らに是れを創刊當時の本紙と較べましては、實に雲泥の相違、進步の跡歷然たるものあるを首肯出來ます。

本紙は大正十二年十一月一日に創刊、本日を以つて十四年の紙齡を數ふるに至りましたが、今にして當時の本紙を披見致しますに、實にそのお恥しさ言語に絶するものがあります。夫れにしても讀者諸彥が、當時本紙にお注ぎ下すつた御愛顧の尊さ……たゞひれ伏して感激に身を置くより外はありません。本紙の今日在るは實に此の讀者諸彥の甚大な御愛顧と御援助の賜であります。

平町は市制實施を目捷に控へ躍進途上に、たゆみなき歩みを續けて居ます。近く大平市たり得べき郷土を代表する機關紙として、本紙が其軌を一にする上に於ても、百尺竿頭一歩を進むべき社業の進展を約束されて居る責任を感じます。

從つて社屋の新築、設備の強化に依つて總べての準備を完了した今日、紙面刷新の企ては、讀者諸彥日頃の御眷顧に酬ゆる當然の處置と信じ是れを決行するに至つたものであります。

而し、勿論此の程度で我事成れりとは考へません。更らに善所すべき數々に對しては一層の努力を誓ひ、尚ほ又今後の御鞭撻を切願致しまして此の刷新振りを喜んで戴く次第であります。

亂れ飛ぶ模型機！
平町の上空を占領
明日第三小學校庭に開く
郡下競技大會

平町いづみや玩具屋主催本社後援の防空思想普及第四回郡下模型飛行機競技大會は愈々明三日明治節の佳辰を卜し午前九時から平第三小學校グラウンドに開催されるが時恰も全國擧げての體育デーに當り各學校を始め各種團體が種々體育向上に資する催しにピッチを上げ折柄一般ファンの熱を煽り盛況を豫想されてゐるが一等の入賞者には優勝旗を始め銀カップを授與、其他七等迄の賞品が用意されて榮冠が輝いて居る

榮冠は何人に？

女師生を迎へ
平校聯合の唱歌會

女師第二期敎正本科二年乙組四十五名は來る十日岩原教諭及び平栗訓導に引率されて來平、第二小學校を參觀する筈なので當日は町內三小學聯合の音樂會を開催すべく目下準備を進めてゐる

久留島先生……
感謝の會に臨みて　(1)
回字會小名濱支部　小野務平

久留島先生と申せば小學兒童を初めとして、青年、老年と云ふ各年齡を通して男も女も等しく其名を知らぬものはないと云ふ程までに、知名の先生である事は今更喋々の要はない。

全体なぜそんなに有名なのであるかと云ふと、先生は實演童話の開拓に手を染めてより廳かせるお伽噺の耆宿であつて、更に通俗講演の泰斗、社會教育界の大家としての存在で、謂所言語報國實に三十年の長歲月に亘つて、天下到る處足跡を印せさる所ないと同時に、幾回か歐洲各國迄も視察せられて、其宏才博識の天稟と相俟つて、全くの大雄辯家としての第一人者であるからである。

この國寶的大先生をして國家の酬ゆる所が、有る無きに係らす、先生の恩顧に生くる者、先生の眷顧に係つて其軌を踏むものとしては先生に對して何等かの意味で感謝せねばならぬと云ふ念慮から、安倍季雄、蘆葉勇の兩氏が唱導の許に斯道の大家三十名を物色『いぬはりこ』と稱する傑作實演童話集を出版して先生の御心勞に感謝の意を表する事となり、その出版を祝する爲に開かれようとするのが即ち此の感謝の會となつたのである。

以上の理由で先生に對する感謝の會は去月二十九日午後六時東京赤坂見付山王下幸と云ふ料亭で開催されたので、其會に出席するの幸榮を有し末座を汚し得るに至つたので、その會の模樣を書いて如何に先生の德望が天下に洽ねく渡り合ふて居るかを窺ふ事が、決して無用でないと信じ筆を取る事にした。

…… …… ……

娘二名が
無斷で家出

茨城縣鹿島郡高松村飲食店堀口シメ方雇人同村生れ根本シゲ(一八)並に同家娘ミチ子(一七)の兩名は去月十五日夜七時頃買物に行くと出たまゝ行方不明になりその後搜査中のところ平方面に稼いで居る樣子あるため二日堀口から平署へ搜索方願ひ出た

選擧名簿公開

平町では去月十五日現在で作成した衆議員並に町會議員選擧人名簿を五日から十五日迄毎日午前九時から午後四時まで縱覽させることになつた

就職した喜びに
歸郷して縊首
強度の神經衰弱から

磐崎村大字西郷字金山農大平忠一郎方隱居で一日午前零時頃同人弟東京市荏原區戸越町松井機械製作所事務員秀之助(三〇)が棟に電燈線をかけ縊死体となつてゐるのを家人が發見したが同人は病弱で五、六年前より強度の神經衰弱に患つて居り昨年末前記に就職した許りでその吉報を齎らして旁々日曜で遊びに來たと卅一日午後歸宅したもの

町會議員が
寺錢を稼ぐ
自宅に博徒を集め
公然と賭博を開帳
本日起訴さる

既報…移動賭博團の一人小名濱町字新川北六魚肥製造業小名濱町會議員賭博前科二犯村上淨代二(五二)は平檢事局で櫻井檢事係りの下に取調べ中の處今二日「賭博開張圖利」罪として起訴されたが同人は町議の名譽職にありながら常に博徒を自宅に集め公然と賭博を開張寺錢を取つて親分氣取で居たものであると

松ケ岡の園遊會
軍人會勅令記念日
軍友會臨時總會

平町軍友會では明三日の軍人會勅令發布記念日を卜し在郷軍人平分會と協同で同日午前十時から松ケ岡公園に式典を擧行後軍友會臨時總會を開き、終つて同所で園遊會を催すことになつた尚二時半からは同町聚樂館で時局講演會を開催するが講師は前在郷軍人會副會長陸軍中將和田龜治氏であると

平商の校內
庭球大會

既報…三日間に亘り行はれた平商の職員生徒聯合校內庭球大會は百餘のチームが夫々勝敗を決し遂に大澤、阿部の兩職員組對三年の友部、鷲見組の決勝戰となつたが四―一のスコアーで生徒側が先生を負し大いに凱歌を擧げた、準決勝後の戰績左の如し

△準決勝
(宮澤清水)0―3(大澤阿部)
(友部鷲見)3―0(鈴木木田)
△決勝
(友部鷲見)4―1(大澤阿部)

豐間村長の
光榮

豐間村長鈴木藤次郎氏はこの程宮內省から同村の功勞者として京都御所二條離宮等の拜觀を差し許されたので九日夫人になさんを同伴京都に赴くことになつた

菅波氏歸校

平第一校の菅波首席訓導は去月十八日本縣教育會の委囑に依り關西九洲、方面の教育視察旅行中の處無事任を果して昨一日夜二週間ぶりで歸校した

學校下
隧道で
職工が轢死

平町稻荷山トンネル內で卅一日夜九時頃上り常磐線列車に飛び込み轢死を遂げた、推定年齡二十三四才、職工風の男あつたが遺品は八型クローム腕時計と空の蟇口で宮城縣石巻市內のカフエー入船のマッチを所持して居り同方面の者と見て照會中

麻雀【開業】
平和倶樂部
平町田町紅小路

平町人事

出生

△二丁目桒野重次氏長男隆さん
△仲間町一一當時東京市淀橋區戸塚町一丁目五四六馬場次郎氏三女正子さん
△銀冶町三六當時長野縣小縣郡中鹽田村大字五加一三四六橫山現瑞氏五女富子さん

死亡

▷新川町二七松崎恒吉氏（七八）

JOHK 三日

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間童話「三郎の馬」松美佐雄
▼後六、二五 英語講座佐藤劍之助
▼後七、三〇 講演「新年歌會御題〃田家雪〃に就て」御歌所寄人金子元臣
▼後七、四〇 講演「最近の讀書の傾向を語る」松本喜一
▼後八、〇〇 東をどり「瓷裁判」新橋演舞場より中繼…新橋連中
▼後八、四〇 聲色「吹寄せ」柳亭春樂
▼後八、五五 ラヂオドラマ放送文藝課懸賞當選作「紙の國旗」友田恭助
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

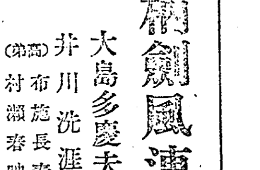
▼前六、四〇 明治節奉納合唱 大日本聯合合唱團…神宮外苑相撲場中繼
▼前九、三〇 奉祝唱歌 女子放送合唱團
▼前九、四〇 お話と木琴獨奏 內山憲堂 三上秀俊
▼前一〇、〇〇 記念講演「明治天皇を偲び奉る」川島令次郎
▼前一〇、三〇 第五回日本體操祭…
▼前一一、一〇 明治天皇御製軍歌奉唱 陸軍戸山學校軍樂隊
▼前一一、二〇 講演「野中兼山先生と南學に就て」川添陽
▼前一一、五〇 第八回仙臺市內女學校聯合音樂會…仙臺市公會堂中繼
▼後〇、五〇 謠曲の午後 1素謠「加茂」喜多六平太他 2番囃子「菊慈童」觀世左近他 3獨吟「景淸」寶生重英他 4番囃子「融」櫻間金太郎他
▼後三、三〇 雅樂 宮內省樂部
▼後六、〇〇 少年少女獨唱大會 武田玲他
▼後六、二五 講演「帝國在鄉軍人會の使命と地位」鈴木莊六「帝國在鄉軍人會の制度確立に就て」片桐護郎
▼後七、三〇 合唱と管絃樂 大日本聯合合唱團 日響山田耕作指揮
▼後八、一〇 長唄「明治節」芳村伊四郎他
▼後八、三五 箏曲 皇太后陛下御歌「以歌護世」「さしそう光」宮城道雄
▼後八、五五 講談「奉書試合」一龍齋貞山

父恒吉儀病氣の處藥石効なく昨日午前七時遂に死去仕候間此段御通知申上候　敬白

追而告別式は十一月三日午後一時平窪村大字大室大蓮寺に於て執行仕候

昭和十一年十一月二日

喪主 松崎長太郎
親戚總代 松崎房治郎



白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗涯畫
（插畫）布施長春畫
村瀨春映畫

……一……

小唄ながれる（一）

あら可笑し。三河上りの山家のお猿。どつこいせ。烏帽子ひたゝれお山の大將。こりや何と。三代つゞいた珍らしや。

あら可笑し。三河育ちの八百萬石よ。どつこいせ。千代田の森のねぐらに眠る。こりや何と大股折つて嘆息吐息。

かうした節の面白い小唄が、どこから流行りだしたともなく、孫ぶやうに江戸の巷を流れて、隅から隅まで、猫ひろひの小僧から、ねんねこ太鼓を叩く子守娘の口の端まで傳はつた。

家光將軍の嚴政を謳ふのでもない。三代つゞいた德川家の臣籍をたゝへるのでもない。どこか節まはしの陰險なところに、政治を諷刺するやうな辛いところがあつた。この唄はしいやうな小唄が、たうとう御膝元を預かる大宮の御奉行所に響いてゐる婢女の口からまで唄はれるに至つて、はじめて吟味した閣老のめん／＼は、稍眉をひそめた。

そして、閣老の合議となつて嚴しい取締の命令が、南北の兩奉行所へ、鐘のやうな鋭さでつたへられた。すると、奉行所からは又それが與力や同心の方へ細かい搜査方針をつけて、八百八町を土龍のやうに巧に潛つてゐる岡引の端までが、梟のやうにぎよろ／＼と眼をひからせるやうになつた。

あら可笑。梟も鳴らさぬ千代田の森に。どつこいせ。痩せた梟が鵜鳥を狙ふ。こりや何と。城のお堀に蛙がわく。

「えつ、耳障りな。聞きたうもない」

と、ふと耳にした閣老松平伊豆守が、下城の駕籠の中で兩の耳をふさいだ。

だが、伊豆守の厳格な政治意識から、それは何人の口から唄はれたかといふ、好奇心を强く挑發したので、ふり返るやうにして、簾の中から離を透して、ゆき過ぎて行く人間の姿を物色した。

「うむ。鴻六だな」

かう御膝元で[illegible]人に囁いた

「おい／＼……止めろ」

と、伊豆守は稍荒らな聲で喚んだ。

「はつ」

駕の方にかゝつたやうに、びたりと駕籠はとまつた。そして駕籠脇の寵臣である近習の久保田主馬は、恭々しく傍へしやがんだ。

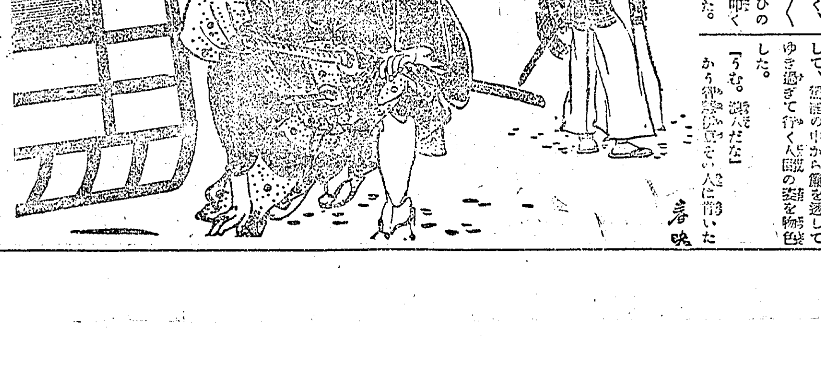
「御用にござりまするか」

「主馬、いま擦違つて行つた者に小唄を唄つて居る者があつた。あの醜な小唄をわざと私と承知をして唄つて參つたぞ。いづこの者か、そちはさとられぬやうに尾行てまゐれよ」

「はつ、承知いたしましてございます」

と、二十一歳の美男振りをした細身の、いふ若侍は、バタ／＼と足音荒く鴻八の後から追かけやうとした。

「待て、まあ待て」



（今日の婦人問題）

人道上から見た 上層階級の離婚沙汰

理由は頗る薄弱下劣で 世の物笑ひのタネを播く

秋から初冬へかけて華やかな結婚が街を賑はして居るが、此の半面裁判所の窓から覗く社會相は離婚と破婚の流行?を見せて居るのも皮肉な現象である。十一月に入つてから廿二日迄東京民事地方裁判所に持ち込まれた離婚請求 訴訟と入籍に先だつて破綻となり婚姻豫約不履行による慰藉料請求訴訟が廿三件即ち一日一件强の多數に上り、近來の新記錄に上つて居る

之等訴狀の內容を檢討すると上層階級と下層階級に屬する人々の離婚若しくは破婚の事情が著るしい相違を見せてゐる事は現實を其のまゝに反映したものとして注目されるべきである

下層階級 に屬する人達の離婚、破婚は法律手段を執る迄もなく殆は實際上當事者間に所謂協議離婚でケリがつき法廷に迄持ち出して爭ふ事はない、裁判所に持ち込まれるものは殆ど大部分が失踪を原因としたもので置去りにされて三年以上經過した妻から曾ての夫に對して又夫から妻に對して出されるのだが配偶者を置去りにして行方を晦らますのは男の方が多く總數の八割を示してゐる

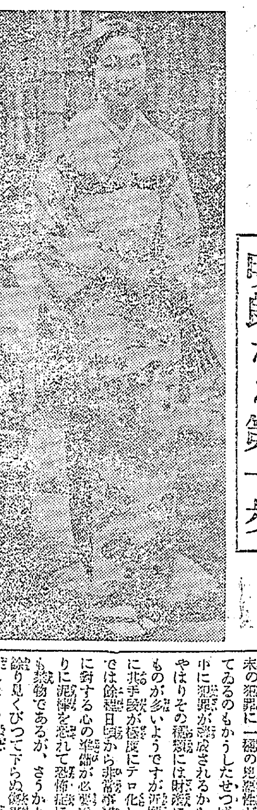
失踪離婚 に對しては裁判所に犯罪の伏在や實際に失踪してゐるか否かを確める爲め、裁判所側でも一應判決以前に地方警察局の手を通じて搜查手續きを執つて居るが、失踪の原因は生活難から一家の維持が出來なくなつて姿を晦ますので氣の毒な事情に基くものである

之に反し て上層階級と稱するもの、離婚請求原因は下層階級に比して其の內容は實に下劣極まるものであつて多くは夫らしくなく、妻らしくないところに出發してゐる、所謂上層階級の慰藉料額も下層階級の夫れと比較する時非常に巨額なものであつて數日前一萬圓又は十萬圓と云ふ請求額の出た事は耳新しい處でこゝにも社會上の地位とか名譽のためと云ふ理由のもとに請求額をぐうんと上らせて居るのは興味ある事である

之等の離 婚請求訴訟に對して裁判所は最後の判決を與へて居るが、之に伴ふ慰藉料請求に對しては示談を勸め十中の八、九割迄は請求額の一割位で片付けてゐるだから裁判所の此の種認定額はまづ請求額の一割が通り相當になつたと見ていゝ稀に請求額の半分以上を認めてゐるのがあるが之れは性病を感染させた場合に限つてゐるのも面白い現象である

（毎日のメモ）

殿方の服裝 茶系統の背廣に灰色、黑白の附屬品はいけません、矢張りブラウンやフアウンのネクタイ靴下がいゝでせう、紺青系統の背廣にはワイン・カラー又は明茶、褐色がよく、鼠色は駄目です、灰色の背廣には青系、黑灰などでせう



晴れの着つけ

花嫁は人形になつて

明朗なる第一步

花嫁衣裳は、花嫁自身が着付をやるといふやうな事は絕對になく、專門の美容師か、親類縁者の誰彼が着付するものと定まつて居ります。花嫁は、最初に、自分で着物を着る氣持を捨てなければなりません。着せる人の自由に、自分は人形になつたつもりで居ることが着付を上手にすることの秘訣です例へば、襦袢の襟を合せる時、御自分で襟を直さうとしたりすると着せる人には、却つてやり惱いものとなるのです。こんな譯で、着付のうまくゆくゆかぬは、着せられる人の氣持一つにかゝると言へば言へるのです。

（背の高い方）

よく、丈の高い人が、高いことを氣にして、ことさら、前こゞみになつてゐたり、足をちゞめたりして立つことがありますが、これは結局、着付の出來上つた時には、胸元がたるんだり、腰にしわが出來たり、足をまげてゐた爲に、裾が短くなつたりといふ結果になり思はしくありません、よく着付けたいといふ氣持は誰しもやまやまですが、結局この場合、欠點を補ひたいといふ氣持を姿勢に出すことは、それだけ着付けの成績を惡くする事になりますから、くれぐれも注意する事です。

（背の低い方）

これと同じ理由で反對に背の低いはうが、高く見せやうとして、殊更胸を張つたり、伸び加減で居ますと、それだけ後で着付が崩れるわけになります、伸びもちゞみもせぬ自然のまゝの姿勢、これを心がけることです、かうして着付が出來ましたら歩く時、立つた時の姿勢に氣をつけ、餘り俯向き過ぎぬやう、幾分前かゞみに、下腹に力を入れ脊柱をすつきりとたてゝ、顎をうつ向けるやうにすると恰好がよく見えます、

（着付の注意）

專門家の手による場合は、この注意は不要ですが、素人の方がお宅でなさる場合の心得としての、着付けは三ツのかんどころといふやうなものがあります

（襟へ半紙を）

その一つは襟です、素人の方の着付が、なんとなくだらしなく見えるのは、襟元がキッチリとしてゐない事にあります、襟元をキチンとし、美しく衣紋を拔くにはどうしたらよいか、と言ひますと、これは、上等の日本紙を二枚續けて襟幅だけに折り襟元に來る位までにして入れます、かうしますと半襟の厚さで襟がきつちりとし、きめただけの型を保つて、崩れることがありません

（衣紋に就て）

花嫁衣裳の着付に、衣紋の拔き加減は不要かも知れませんが、この拔き方のちよつとしたコツは、着付全體の上に決定的と言つてもよい程の影響があります、と言つて、どう拔くといふ事は簡單に言へませんがつとに調和させながら、十二分に拔く、といふのが要點と言へます、

（衿は十分に）

襟の引き足りない着付は、どうしても品が下り、嫌味さへ與へるものですから、お召物の襟は、十分に引くのが、着付をはえさせるコツです、と言つて、餘り丈の低いかたが、長く引きすぎるのは、却つて丈を低く見せるものでいけませんがそれとて、引きかたの短すぎる場合よりは、まだしも救はれます。

泥棒心理の 逆手をゆく

師走へ急ぐ…… 季節の足音

師走へ急ぐ季節の足音には何か殺氣立つた氣が感ぜられてゐます、歲末の犯罪に一種の犯罪性が加はつてゐるのもかうしたせつぱ詰つた中に犯罪が醸成されるからでせうやはりその種類には財物に關するものが多いようですが近頃のように其手段が極度にテロ化した今日では餘程日頃から非常時の場合に對する心の準備が必要です、濫りに泥棒を恐れて恐怖症になるのも禁物であるが、さうかといつて餘り見くびつて下らぬ災難沙汰を起したり、狼狽しきつた末に不覺の處置を誤つて無暗にガナリ立てそのために高々帽子一つ位の被害で濟むものが遂に大事な生命まで落すような事も往々あります、この險惡な風のような泥棒の襲來を防ぐには、ではどうすればよいかまた一旦泥棒に踏み込まれたらどんな態度が肝要か、病氣の對策のようにこれにも豫防法が第一といはねばなりません。

一、寢室は消燈しても外側の廊下の電燈はなるべく却つて煌々と點火したまゝにすること

一、變な物音の氣配が外側に感づかれた時は咳拂ひをするとか內部では目を醒ましてゐるといふ事を表明すること

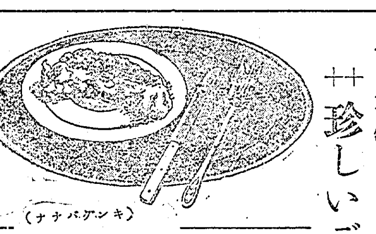
一、垣の破れ目に錠前などは直かに繕つておくこと

一、再三狙はれる鬼門は泥棒の目には良く映るもので御用聞きや外來者が來ても自分の宅のどこに隙があるか良く調べて置く事

一、かうした隙の場所には番犬を繋いで置くとか開放時に警鈴する自動スヰッチを附けて置くとかの方法が有效です、何となら泥棒も侵入せんとする直際には一種の微妙な心理作用を持つものでそれは驚くものに不思議な恐怖を與へるもので

一、平素から隣家のお宅等と非常の打合せをしておいて人に氣付はれない暗號ベルを作つておく事です、宅には電話もあるからそんな事は馬鹿らしい等とをさまつて近所の好みなどから[illegible]つてゐる樣な家庭へはよく泥ちやんが顏を出します近頃の泥棒は電話線を切斷して入る事が寧ろ常識となつてゐる位です

＋＋果物をつかった＋＋ ＋＋珍しいデザート＋＋



（キングバナナ）

キング、バナナ

材料＝バナナ、一人半本か一本、牛乳四勺、卵一個、砂糖大匙山一杯メリケン粉大匙二杯、ジャム（苺でも、オレンヂでも）あげる爲のラード（質の上等品）或は料理用バタ。バナナの皮を剝いて、心持斜に二つ切りにし、砂糖を振りかけて、卅分程置きます。牛乳の中へ卵の黄身とメリケン粉とを入れて輕く混せ卵の白身の方を固く泡立てゝ其の中へ入れ、又そつとまぜます。バナナに此の衣を附けてラードであげます（とろ火でバナナが軟かくなるまで）

あがりましたら、油をきつてから器にのせ、ジャムを細長く帶狀にかけて出します。

着崩れしない 腰紐の締め方

□……襦袢とか綸子の樣なグラリとした着物は縮緬や大島等よりも非常に着くづれのしやすいものですが、それは腰紐の締め方さへお上手なら決して心配はいりません。

□……で、まづ腰紐は、なるべく、幅の廣いしつかりしたものを用ひます、それには晒布を三つに切つて、それをくけたのが一番いゝのです。そして少し兩端ですが、お腰と後腰にあたるところには心を入れて置きます。するとしつかりして着くづれがしません。

□……次に腰紐をしめるときには着物の褄を後は一寸長目にして前でおさへ、前を短めとすれすれにしてからしめるのです。そのとき必ず紐の位置は前をたかく、後は前よりも一寸位低目におとしてしめます。

□……でないと、やゝもすると後の紐はつり上る氣味があるので從つて着物の褄がアンドウ式に開いてしまふからです。

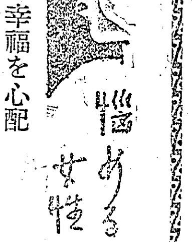
◇重寶豆本◇

なめし革の汚點 茶色のナメシ革についた大概のシミはすこし、あたゝめたミルクに少量のソーダを加へたもので取れます、卽ちこれをフランネル布片にしめしシミの周邊から中心へ向つて圓いやうにしてこすります

アイロンのかけ方 ボタンのある部分にアイロンをかける時にはボタンを下向きに厚いタオルの上にのせ裏からアイロンをかけます

＋＋海外ニュース＋＋

グリーンランド＝無電によつて食物 グリーンランド沖のダビス海峽で捕へてニューヨーク動物園に送る小さな海豹が何も食べないので、ボブ・バートレート大佐は無電でどうすれば海豹に食物をとらせたらいゝかと聞かれました、バートレート大佐ははじめて北極に到達した有名な人です



將來の幸福を心配 結婚をためらふ彼

【問】 廿六の田舍育ちの一職業婦人、廿三の時郷里で嫁ぎましたが、約半年ばかりにて夫に死別しました、其の後上京し或る會社へ入り目下伯母の家に厄介になつて居ります、昨年十一月頃より親戚の廿四の甲と知り合ひ交際を續けて居ります。甲は小さい時から苦勞して育ち經驗で人情深く、私の淋しい心持に大變同情して會ふ度毎に私を激勵しては慰めて呉れましたがそれが何時しか戀となつたので御座いませうか、とても此頃彼がなつかしいやうな氣持ちで私の心は一杯です、で二人を結婚させ樣と伯父伯母が心配してくれて居ますが彼は自分が年下故今はいゝとしても將來幸福に過ごして行かれるかしらとためらつて居るらしいのです、彼は獨立して商賣して居り生活には支障無いので御座います私は妻が年上だから不幸だといふ世間の話も聞いては居りますが、それは其の當人同士の理解の一つで何でもないと存じますが、先生如何で御座いませうか。（瑛子）

貴女の愛と信頼の純情を以てその考へから解放させなさい

【答】 不仕合せな第一の結婚から立ち上つて、職業婦人として雄々しい生活をしてゐる貴女の勇氣を悅びます。しかも相愛の理解者を得て、新しい生活を切り拓いて行かうとせられる事は更に悅ばしいことです。しかも伯父夫婦や周圍の人々があなた方二人の結婚に理解をもつて勵まして下さることはこれまた悅ばしいことです。只問題は、乙青年[illegible]たより二つ年下であるといふことです。結婚に於て大體男の方が年上である傾きがありますが、それは絕對的の條件ではありません。しかも女が二つ位年上であることは決して重大な支障を來す條件とはなりますまい。もつと重大なことは双方がどんなに理解し合ひ、信頼しあひ、また社會人として健全なる生活力を持つてゐるかどうかと云ふことです。しかし乙青年がそこまで結婚に對する考へが進んでゐないで、年上の問題に捉はれてゐるならば話は少しむづかしいでせう、これも貴女が乙青年にする熱誠を持つて、乙がさうした考へから解放されて二人の生活の完成に導くやうに、貴女の愛と信頼の純情を持つて努めたらいゝでせう。

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）
村瀨春映（畫）

—第一回—

密獵船（一）

らしやめんお瀧のほかに、この星條旗を檣頭高く掲げた、二千五百噸の冷凍船ロッキイ丸には、あきらかに、日本人とおぼしい、黃いろい扁平な顏をした、やぶにらみの水夫が一人ゐた。

お瀧は、めつたに船長室を出ることがなかつたが、まれに、甲板へ散步に出たときには、きまつてこの黃いろい人種の、やぶにらみに出會ふのだつた。

—いやな、日本人。

さう呟いて、かれの視線を避けた。

それは、じぶんが、らしやめんであることを卑下して、同じ日本人に顏を見られるのが恥しかつたのではなく、お瀧は、骨の髓まで、らしやめんに成り切つて、民族意識といふものを、いさゝかも持合してゐなかつたからだ。

本牧のチャブ屋から、型どほり上海くんだりまで流れていつて、土地のレストランで媚を賣つてゐるうちに、いまの、ロッキイ丸の船長アルゼ・ボルトメンに見出され、六ケ月契約で、莫大な弗に傭はれ、北洋通ひの冷凍船へ連れて來られたのだが、それまでのうちに、日本人らしい何ものをも失つてゐるやうな女だつた。

『いやな、日本人が乘つてますのねえ』

ある日、たうとう、それを船長ボルトメンにいつてしまつた。

船長は、ふしぎさうに、お瀧の顏をみた。

『ほう、いやな、日本人?』

『さうよ』

『だが、おまへも、日本人ぢやないか』

『いゝえ、あたしア、日本人であることを忌避するわ』

『ハッハヽヽヽヽ、それで?』

『あんな、黃いろい顏の、ガニ股の、やぶにらみの、日本人なンか海の中へ放り込んだ方がいゝわ』

『殘酷だなア』

『だつて……眼ざわりですもの』

それは、航海中だつた。北太平洋から、オホツク海に廻り、千島のエトロフ島のスベトロ沖を過ぎたところである。

『あれは、やはり、弗で買つた男なのさ。だから、むざ〲と海ン中へ放り込むわけにもいかんよ…』

船長ボルトメンは、髯だらけの顏を笑はしてゐる。

『いくらで、あんな男を買つたンですの』

お瀧は、眉をひそめた。

『ハッハヽヽヽヽ、いよ〱、おまへは、日本人を嫌つてゐるね』

『ね、だんなさま』

『なに』

『あんたは、あの男と同じやうにあたしをみてらつしやるの』

『といふと!』

『あたしも同じやうに、弗で買つた女だから、もう倦きたが、弗の値うちだけ使つてやれ……といつた風に』

『そ、そりア、おまへの邪推といふものだ。おまへは、なるほど弗で、六ケ月契約といふことで連れてきたが、あの男は、いはゞ、この船の航行に必要な器具、おまへは、ちがふ』

『どんな風に?』

『おまへは、わしの感情をやはらげる原動力、あの男は一個の物質おまへは精神、いや、わしの信仰の對照物なのさ』

さういつて、ボルトメンは、お瀧の、肩を引寄せ、ふくよかな顏を抱いた—

『まア、うまい ことを仰しやるわ。ぢや、あんたの信仰が失はれるときは、あたしをすてるときなンですね。そのときは、あの男よりも、もつと慘めに、海ン中へすてられるわ』

『そ、そいつは、ちがふ』

ボルトメンは、また、お瀧を強く、抱き締めた。

祝 發 展

釜屋商店

福島縣平商業學校
商友會

平郵便局長
佐藤守節

合資會社 平製作所
電話四一番

最優最大日本生命保險平代理店
魚問屋 志賀盛榮
平町四丁目 電話二一三番

日本ゼネラルモータース株式會社
シボレーポンテアク販賣店
株式會社 福島モーター商會
平出張所
本社 福島市 支店 山形市
平町三丁目 電話一八七番

土木建築請負業
强口唯七郎
營業所平町田町（電話二八二番）

合資會社 平電氣鑄鋼所
電話二六番

お食事と音樂
グリル・バッカス
平町銀座通 電話七〇二番

金成醫院
金成忠義
平 鎌田町 電三五八番

拜啓秋冷の候益々御清穆の段賀上奉候陳れば校醫酒井國三郎先生は明治二十九年本校創立の際就任爾來本日に至るまで滿四十ケ年勤續せられなほ老として當校のため盡瘁せられ居り候就いては來る十一月三日明治節の吉辰をトし一は先生の御功績に酬ひ一は謝恩の微意を表し度同日午前九時これが顯彰式を擧行すべく候間何卒御臨席の榮を得度此段御案內申上候 敬具

追つて當日は左記要項に依り酒井先生勤續祝賀會相催し候に付き御出席相成り度就ては準備の都合も有之候間御出席の有無御知らせ願ひ上げ候

一、會場 住吉屋本店
一、時間 午後五時
一、會費 金二圓五十錢

昭和十一年十月
福島縣立磐城中學校
校友會長 小檜山久作
同窓會長 關內正一

卒業生各位

御知らせ
防虫劑 玉ナフタリン
片手一杯ツカミ取進上
開店三十週年記念謝恩デー大好評を博しましたにつき引續き毎月十五日を謝恩デーと定め御買上金五拾錢以上の御客樣に玉ナフタリンを差上ます
アセモタダレに妙藥、トフメルを無料でつけて上ます。
藥と衛生相談所 阿康藥局
平町古鍛冶町縣社の下
電話四四番 振替口座 東京三〇〇〇

齒科口腔外科
レントゲン科
院長 東京齒科醫學士 原精一
原齒科醫院
平町土橋通り 電話三一番

入院隨時
市原醫院
內科 小兒科 市原卯大郞
外科梅毒淋病 市原三三男
平町田町 電話一一四番

メリヤスは
專門店のヤマカ
毛メリヤス、綿メリヤス
豐富に取揃へてございます。
毛物は今冬に至り一躍急騰致して居りますが毛製品は全部安い時季の契約品であり製造家直接の大量仕入に付綿メリヤス同樣、品も値も御滿足を得る品でございます
冬のお仕度は是非!!!
山家メリヤス店
平町弐 電話六〇五番